

子どもが住みよい地域にしたい！

@南部

～「地域と若い世代の意見交換会」を行いました

■日時 平成31年3月10日(日)午前10時から12時

■場所 南部クリーンセンター 3階ホール



意見交換

A～Dの四つのテーブルに分かれて、意見交換をしました。



リラックスしながら

飲み物やお菓子も用意されて、和やかに話し合えました。



意見の見える化

ホワイトボードに参加者の意見を貼ることで、意見の見える化しました。



発表

最後に、四つのグループから、話し合いの内容を報告して頂きました。

「子どもが住みやすい地域」ってどーゆーことでしょうか！？

柏市ではこの答えを探すために、

「いま子育て中の若い世代の意見を聞くのが一番じゃない？」と思い、地域の方たちと若い世代との意見交換会をしました。

当日の様子は、市役所がやる意見交換会とは思えないほどの笑顔、笑顔、笑顔～！！

みなさんでたくさんおしゃべりして、様々な意見がまきました！ くわしくは裏面をご覧ください！



* 「こすっち」とは、「子(どもが)住(みよい)地(域)」の愛称です。

地域の【現状】は

…確かに、いろいろと課題が山積しています。

- ・意図的に若い世代とのかかわりを作らないと場がない(子どもはたくさんいるのに...)
- ・若い人たちの活動に対して理解が得られない。
→ 担い手不足につながっている。
- ・最近では中学生も部活動ではなく習い事(クラブチームなど)をやっている子が多い。
- ・小学校高学年、中学生、高校生など子どもが大きくなると地域との関わりがなくなってくる。
- ・公園では花火もボール遊びもできないので、子ども達が外で遊ぶ場所がない。



- ・子ども会の役員をやる人が同じ人ばかりで不公平だという意見があって、子ども会が休会した。
- ・ふる協活動がわかりづらいものがある(サロンなど...)、透明性がない。

地域の【問題解決】へ

…力を合わせて、安心で、豊かな地域に。

▼いまやっていること

- ・イベントについて、できることから手伝ってもらえるようにアンケートを実施している。
- ・マンション内でつながりがあまり無かったが、子どもができたことで色々な人との繋がりが増えた。結果、班長や役員を通じてふる協を知った。
- ・ラジオ体操を柏南町会と協栄町会で開催した。柏南町会ではマクドナルドのラジオ体操カードを使った。
- ・子ども映画会を開催した。
- ・夏祭りは自分の町会とふる協で毎年1回ずつ実施されるので大変だが、たくさんの方が来てくれると嬉しい。

▼参加して思ったこと

- ・茶話会のように、ざっくばらんな雰囲気がとても良かった。
- ・若い方の考え方が少しわかった気がします。今後参考にしたい。
- ・ふるさと協議会の活動や子育ての保護者の意見も話せる場。知ることが出来て良かったです。



ふるさと協議会とは

町会等は、わたしたちの生活に最も身近な活動団体です。柏市独自の「ふるさと協議会」は、町会等の枠を超えた地域コミュニティづくりの中心的な担い手として期待されています。



▼これからやれたらいいなと思うこと

- ・こういった会議をもっと定期的で開催するとよい。
- ・現行の役員が柔軟性をもって理解してくれるかが大事。
- ・親としては、子どもと一緒に集える場が欲しい。
- ・夏に学校のプールを開放してほしい。昔は毎日解放されていた。
- ・子どもが喜ぶことだと親も参加するので、子ども達が喜ぶ飛び入り参加できるイベントなどがあると良いと思う。
- ・子どもたちの居場所を無料で提供することができたらいいなと思う。(バンドの練習や勉強ができる場所等)
- ・ふる協はシルバー対策だけをしているわけではない。むしろ子どもたちに入ってきてもらいたい。子どもたちが地域を「ふるさと」と思ってもらえるように。
- ・世代を問わずに親も子も参加できるサークルがあったら参加したいと思う。
- ・地域の行事の案内はどこから回ってくるかが大切。学校を通して回ってきたり、回覧で目立つように回ってくると参加しやすい。
- ・ふる協の青年部を作り、ふる協がその活動を支援し、関わり合っていくのが理想的だ。



発行) 柏市役所 地域づくり推進部 地域支援課

問合せ : 04-7167-1126

mail : info-chksh@city.kashiwa.chiba.jp